令和４年度事業報告

Ⅰ　事業の取組方針

新型コロナウイルス感染症の拡大（以下「感染症」という）の影響により急激に落ち込んだ青森県産品の販売を一日も早く回復できるよう、県、市町村、関係機関、事業者との連携を一層強化して事業を展開してゆく。特にアフターコロナ、ウィズコロナにも対応すべく、感染症対策を徹底しての物産展、関係事業者と連携したオンラインショップ、商談会開催等を強力に展開してゆく。

令和３年度までの収支均衡を目標とした経営改善計画は平成 29 年度､30 年度は黒字化を達成したが感染症の影響により大きく後退したため、早期の収支均衡達成に取組むものとする。

１　収益増加対策の強化

新規物産展への積極的参加、物産展新規出店者開拓及び商品開発、旬味市での POS レジの導入、ふるさと納税新規商品開発等に取り組んだ。

２　アフターコロナ、ウィズコロナへの対応の強化

アフターコロナ、ウィズコロナへ対応すべく感染症対策を徹底しての物産展、各種イベントへの復活、関係事業者と連携したオンラインショップ、新聞折り込みチラシによる販売、青森県商工会連合会と共催した商談会「FOOD MATCH AOMORI 2023」あおもり食品展を開催した。また、若手事業者等の育成支援を目的とした「ぶっきょう寺小屋」、「チャレンジマルシェ」を３年ぶりに実施した。

３　会員支援の強化

これまで実施している物産展手数料を会員と非会員で差別化、青森県薬剤師会食と水の検査センター検査料の優遇に加えて、県・国の支援事業や関係機関、事業者が実施する事業をきめ細かに情報発信してゆく。

さらに会員の販売拡大のために新たな販路開拓、良質で安価な原材料ルートの確保、輸送料等の減額のための物流事業者等とのマッチングなど会員の支援を一層強化していく。

Ⅱ　公益目的事業

１　県産品振興事業

本県の豊かな農林水産物やその加工品、青森ならではの食文化、伝統工芸品等の販売、情報発信、新規販路開拓支援及び事業者育成を県内外において実施した。

（１）県産品宣伝・販売促進事業（継続）

①　百貨店等における物産観光展

本県の優良産品や観光ＰＲ及び県産品の販路拡大を図るため、全国の百貨店等において物産展を開催するとともに、新規出店事業者の発掘や企画商品の強化を行った。

ア　県展【一部団体委託】

「第 24 回 青森県の物産と観光展」岡山髙島屋　（継続）

岡山髙島屋が開店 50 周年を迎える年ということもあり、様々な企画を打ち出しての開催となった。寿司店、クラフトハードサイダー、蜂蜜が新規で出店をした。

前回より出店数が 5 社増えたことにより、会場全体が活気づき青森県を PR する事ができた。

会　　期	令和 5 年 3 月 15 日(水)～21 日(火)　7 日間 午前 10 時～午後 7 時まで　最終日午後 4 時閉場
会　　場	岡山髙島屋　8 階催会場/屋上イートイン
主　　催	青森県物産観光振興対策協議会
出店内容	38 社【食品 32 社、工芸 6 社】 イートイン(3 社)　みそカレー牛乳ラーメン、大間まぐろ握り・丼 黒石つゆやきそば 菓　　子(7 社)　アップルパイ、和洋菓子等 農産・農産加工品(13 社)　りんご、りんご加工品（ジュース・酢・パン)、黒にんにく、漬物、ヨーグルト、お茶、シードル 水産・水産加工品(5 社)　十三湖産しじみ、塩辛、するめ、わかめ、鯖缶 惣　　菜(2 社)　かまぼこ、しおてば 米　　飯(2 社)　海鮮弁当、鯖棒すし 工　　芸(6 社)　津軽塗、下駄、青森ひば製品、錦石、ちりめん衣料、こぎん刺し
イベント 企 画 等	① 報道各社への事前表敬訪問 ② 観光コーナーの設置やポスターなどの展示 ③ 金魚ねぶたや提灯などの装飾 ④ 会場内でのお買い上げ抽選会の実施 ⑤ 青森出身タレント「王林」トークショーの開催 ⑥ 50 周年記念商品「お楽しみ袋」の販売 ⑦ 外商顧客向けのチラシによる青森県産品企画販売
売上高	37,171 千円（税込）前年比 109.0％　※外商企画販売売上含む

会場の様子

イ　全国展、東北展等（一部団体委託）

東北物産展を主体に企画展及び地下催事等への出店支援を青森県物産観光振興対策協議会と連携して行い、県産品の販売拡大と観光 PR を図った。

新規の物産展が 10 件開催され、事業者が販売 PR できる機会が増え、12 月以降は感染症拡大前の売上を取り戻している物産展もあり売上高 266,392 千円、前年比 115.0%とコロナ前の水準まで回復傾向に向かっている。

（出店数：()は工芸）

エリア	開催数	主な会場	延べ出店数
主 要	1	岡山髙島屋	38（6）
北海道	4	札幌東急	11
東 北	1	仙台藤崎	1
関 東	27	日本橋髙島屋、横浜髙島屋、東武宇都宮、伊勢丹浦和店、松坂屋静岡店、京急　他	123（13）
中 部	6	ジェイアール名古屋髙島屋、トヨタ生協、松坂屋名古屋店	24（1）
近 畿	4	あべのハルカス近鉄本店、京都髙島屋　他	12（4）
北 陸	1	大和香林坊店	5
中四国	1	いよてつ髙島屋	5
九 州	6	鹿児島山形屋、熊本鶴屋、大分トキハ、小倉井筒屋	44（1）
オンライン	3	髙島屋、小田急、伊勢丹	－
合計	54	合計売上高　266,392 千円（前年比 115.0%）	263（25）

6 月鹿児島山形屋

【新規】7 月東武池袋店

②　県内外イベント（一部県受託事業・継続）　受託額　99 千円

青森ねぶた祭が 3 年ぶりに開催されたことにより例年アスパムで開催していた物産展が実施できた。また、県内 1 会場、県外 3 会場にて物産イベントを新規開催できたため売上高 45,218 千円、前年比 486.5%と復調の兆しとなった。

No		名　　称	場　　所	期　間	出店数
1	県内	店頭催事	ラビナ北口風除室	4～3 月	延 4
2		青森の夏！ねぶた物産市	アスパム	8/1～7	21
3		対面販売	JR 新青森駅構内等	8～3 月	延 9
4		店頭催事	さくら野八戸店	8/9～15	1
5		第 13 回津軽海峡圏「大農林水産祭」	青森産業会館	11/12～13	66
6	県外	青函フェア	仙台藤崎特設会場	4/15～20	5
7		あおもり産直市	JR 大宮駅西口	5/18～22	10
8		北東北産直市	JR 上野駅中央改札外	7/12～16	6
9		いわて・あおもり産直市	JR 大宮駅西口	8/17～21	6
10		北海道・青森県特産品販売会	仙台藤崎百貨店	10/20～25	6
11		あおもり・いわて産直市	JR 大宮駅西口	1/18～22	6

JR 新青森駅構内

JR 大宮駅西口

（２）　新規取引先拡大推進事業（継続）

①　商談機会の創出

ア　「青森の正直」商談会

県、金融機関、関連団体等とともに「青森の正直」商談会実行委員会を組織し、県産農林水産物や加工品を県内外へ販路拡大する WEB 商談会を開催した。

・開催時期：令和 4 年 7 月 26 日（火）～28 日（木）
・開催場所：青森会場　東奥日報新町ビル 2 階 Seven’s
　　八戸会場　VISIT はちのへ 1 階多目的大ホール
・内　　容：Teams（オンライン）を活用した、県内事業者と県外バイヤーとのＷＥＢ商談会
・全商談数：109 件（事業者数 44 社、バイヤー11 社）
・商談成約：26 件　（成約率 23.9%）

イ　「FOOD MATCH AOMORI 2023」あおもり食品展（青森県物産観光振興対策協議会事業）

青森県商工会連合会との共催により県内外の販路開拓を目的とする「FOOD MATCH AOMORI 2023」あおもり食品展を開催した。

過去２年間はWEBによる商談会だったが、3年ぶりの対面形式として開催した。

・開催時期：令和5年1月25日（水）
・開催場所：ホテル青森3階　孔雀の間
・内　　容：出展事業者52社、来場者数118社（220名）

会場の様子

ウ　関係機関等が開催する商談会等への参加誘導

県内事業者の商談機会の拡大に向けて、金融機関などが開催する商談会を当協会ホームページ等で広く周知し、参加促進を図った。

掲載件数　6件

②　新規取引先拡大に向けた相談対応による事業者支援

新たな販路確保や県産原材料調達に意欲的な事業者への相談対応・助言等によるマッチング支援等を推進した。

相談対応件数　69件

【内訳】入会4件、販路開拓全般24件、原材料9件、商品開発7件、ふるさと納税3件、事業承継1件、シール1件、輸出4件、災害対応2件、産直運営7件、表示4件、物産展2件、検査料1件

（３）事業者育成支援事業（継続）

①　特産品コンクール事業

感染症対策を講じながら、県内の優れた特産品を表彰するコンクールを開催した。

また、受賞商品を広くＰＲすることで、更なる県内事業者の意欲向上と商品力のレベルアップを図った。

・開催時期：令和4年7月28日（木）
・開催場所：青森商工会議所会館7階研修室

【審査結果】

受賞名	商品名（名称）	社名【市町村】
青森県知事賞（１点）	CRAZY CIDER DRY （果実酒発泡性）	タグボート株式会社 【平川市】
青森県農林水産部長賞 （2 点）	南部菱差し琥珀糖 八戸きらり （菓子）	一般財団法人 VISIT はちのへ 【八戸市】
	津軽びいどろ あおもりの肴盃セット （ガラス製品）	北洋硝子株式会社 【青森市】
(公社)青森県物産振興 協会会長賞（４点）	津軽ほたて味噌ドレッシング （調味料）	津軽味噌醤油株式会社 【大鰐町】
	あおもりりんご缶詰 （りんご加工品）	合同会社あおなび 【青森市】
	にんにくマリアージュ （スープ）	甲田ファー夢 【十和田市】
	鱈からすみギフトボックス （魚卵加工品）	とんかつ米平 【青森市】

○表彰式

・開催時期：令和４年９月 15 日(木)
・開催場所：青森商工会議所会館７階　研修室
・参 加 者：受賞者、報道機関、県等

＜青森県知事賞＞
CRAZY CIDER DRY

○販売会

青森県と連携し、受賞商品の周知・販路拡大を目的とし、販売会を実施した。
・開催時期：令和４年 10 月８日（土）
・開催場所：イオン青森店、マックスバリュ浜田店

イオン青森店

・「令和４年度優良ふるさと食品コンクール」への推薦

青森県知事賞受賞「CRAZY CIDER DRY」を青森県へ推薦し、県から「優良ふるさと食品中央コンクール」への推薦申請を行った。

【「令和４年度優良ふるさと食品コンクール」への推薦結果】

表彰部門	受賞名	受賞商品	受賞者
新製品開発部門	(一財)食品産業 センター会長賞	CRAZY CIDER DRY＆SWEET	タグボート株式会社

②　若手事業者等の育成支援

ア　ぶっきょう寺子屋の実施

県内若手事業者や創業・起業者等の販売力と経営力の向上を図るため、先輩事業者からの成功事例などの体験談を聞き、事業発展に役立ててもらうことを目的に３年ぶりに実施した。

・開催時期：令和４年 11 月 29 日（火）
・開催場所：青森商工会議所会館１階　AOMORI STARTUP CENTER
・先輩/事例発表者：タグボート㈱　代表取締役　水口清人 氏

会場の様子

イ　チャレンジマルシェの実施

県内若手事業者や創業・起業者等の販売力と経営力の向上を図るため、自ら生産・製造した商品を対面により販売する機会を創出し、事業者育成を図るため実施した。

コロナ感染症拡大防止対策として休止していたが、新青森駅の利用者が回復基調となったことにより３年ぶりに開催した。

・開催時期：令和５年１月２日（月）～5 日（木）
・開催場所：JR 新青森駅２階コンコース内、待合室前
・出店者数：2 社
・販売商品：アップルパイ、りんご、りんごジュース等

（４）産直施設活性化推進事業（県受託事業・継続）受託額 588 千円

産地直売施設の経営力強化を図るため、季節によっては品揃えが不十分となる時期に商品の充実と安定供給に向けて商品交流を推進した。

① 商品交流の実施

ア　産地直売施設間の商品交流情報交換会

・開催時期：令和４年７月 14 日（木）
・開催場所：青森商工会議所会館
・参 集 者：県総合販売戦略課、県地域県民局地域農林水産部（西北、上北）
黒石市、十和田市、三沢市、青森県特産品センター、ふじさき食彩テラス、道の駅いかりがせき、野市里（のいちご）、産直メロス、道の駅とわだぴあ産直とわだ、道の駅もりたおらほのめへ、六旬館、日興運輸株式会社、青森県物産振興協会
・議　　題：これまでの取組状況/商品交流フェア/日興運輸株式会社の取組状況

イ　田子町、田子にんにく国際交流協会、たっこ産直友の会情報交換会

・開催時期：令和４年８月 22 日（月）
・開催場所：田子町ガーリックセンター
・参 集 者：田子町、田子町にんにく国際交流協会、たっこ産直友の会
・議　　題：商品交流事業の概要及び交流参加について

ウ　商品交流販売会

・交流施設及び商品

○道の駅とわだ　とわだぴあ（十和田市）	
販売期間	令和４年８月１日（日）～継続中
〔提供元〕 主な販売商品	〔青森県特産品センター〕 清水森ナンバー味唐辛子、清水森ナンバー升漬け
○特産品販売所　六旬館（六ヶ所村）	
販売期間	令和４年９月 30 日（金）～継続中
〔提供元〕 主な販売商品	〔道の駅いかりがせき〕 自然薯そば、ねまがりたけ、マルメロチキンカレー、マルメロパイ 自然薯パウンドケーキ
○青森県特産品センター（弘前市）	
販売期間	通年
〔提供元〕 主な販売商品	〔SAN・SUN 産直ひろば〕 野菜各種
○道の駅いかりがせき（平川市）	
販売期間	令和４年９月 17 日（土）～令和４年 10 月 17 日（月）
〔提供元〕 主な販売商品	〔津軽藩ねぷた村〕　清水森ナンバー升漬け 〔六旬館〕めっぽうどん 〔たっこファーマーズマーケット〕にんにく味噌ギフト、にんにくしょうゆ漬け、にんにくたまり漬け、にんにく甘酢漬け、にんにく梅酢漬け、にんにくみそ、にんにくスライス、にんにくパウダー、熟成にんにく、黒にんにく

②　地域住民に対して販売を拡大させる取組推進会議

ア　第１回会議

・開催時期：令和４年 10 月 21 日（金）

・開催場所：道の駅いかりがせき

・参 集 者：青森県総合販売戦略課、青森県中南地域県民局地域農林水産部、平川市、平川市社会福祉協議会、明治安田生命保険相互会社、青森県物産振興協会

・議　　題：事業概要について/平川市社会福祉協議会の取組状況/明治安田生命「健活」プロジェクト

イ　第２回会議

・開催時期：令和４年 12 月 13 日（火）

・開催場所：道の駅いかりがせき

・参 集 者：青森県総合販売戦略課、平川市社会福祉協議会、道の駅いかりがせき、明治安田生命保険相互会社、青森県物産振興協会

・議　　題：事業案詳細決定

③　産地直売施設における地産地消・健康増進・コミュニティ活動促進・買い物支援プロジェクト

・開催時期：令和５年３月５日（日）

・開催場所：道の駅いかりがせき

・参 集 者：碇ヶ関地区高齢者（14 名）、道の駅いかりがせき、明治安田生命保険相互会社、平川市社会福祉協議会、青森県総合販売戦略課、青森県物産振興協会

・実施内容：平川市産食材を利用し健康に配慮した弁当を食べながらの語らいの会

Ⅲ　収益事業

１　県産品販売推進事業

（１）旬味市管理運営事業（継続）

今年度は、感染症の終息が見えない中でのスタートとなり、期待していた観光客を始めとする利用者が少ない厳しいものとなったが、7 月からはキャッシュレス対応レジを導入したことにより利用者、出店者ともに利便性が向上した。また、レジ導入により、「青森県おでかけキャンペーン【全国版】」（10 月開始）や「青森市プレミアム付き商品券」（１月開始）の利用店舗に登録が可能になり、年度後半に向けて売上を伸ばし、売上高 124,027 千円、前年比 200.8%となった。

旬味市の様子

（２）県産品販売拡大事業

①　県産品の卸売販売（継続）

ア　海外商品卸

国内商社（3 社）に対して県産品の卸売販売を行った。海外ではコロナ自粛から解放され外出回数や海外旅行者数が徐々に回復し、家庭内消費が減少したことが要因となり販売実績 3,283 千円、前年比 50.1%となった。

イ　国内商品卸

県産品の販路拡大を図るため、国内における卸売販売の強化に取り組んだ。

原料・エネルギー等の高騰によるコストアップやコロナ自粛が徐々に緩和されたことにより消費動向に変化がみられた。また感染者の自宅へ届ける配食事業の受注による短期的な売上があったことから、販売実績 27,595 千円、前年比 102.1%となった。

ウ　ふるさと納税制度による返礼品の発送（県受託事業）

あおもりふるさと寄付金に係る PR（県産品発送）業務を県から受託し、3,782 件の発送により売上高 16,553 千円、前年比 131.0%となった。

昨年度に引き続きコンスタントに出荷されるようになり、年々県産品の認知度が向上している。

②　催事精算業務サービス（継続）

県内の一般消費者等に対する県産品の認知度向上、地産地消の推進を図るため、県内大手量販店等が実施する「地産地消フェア」や県外百貨店等での催事売上金の精算業務により売上高 57,195 千円（県内量販店 19,218 千円、県外催事 37,977 千円）前年比 131.7%となった。

今年度より青森放送㈱で運営している RAB オンラインショップの帳合を開始した。

（３）物品販売事業

①　青森の正直シール販売事業（継続）

安心・安全な青森県産品をアピールする「青森の正直シール」を販売した。

■販売実績

区　分	シール単価（円・税込）	販売枚数（枚）	販売金額（円・税込）	利用者実績（のべ）
青森の正直シール	0.5	60,000	30,000	5社
前年比			100%	

②　青森県特別栽培農産物認証票シール販売事業（継続）

安心・安全な県産農林水産物の生産・販売を促進するため、青森県からの指定を受け「青森県特別栽培農産物認証票シール」を販売した。

■販売実績

区分	ｼｰﾄ単価（円・税込）	販売枚数（シート）	販売金額（円・税込）	利用者実績（のべ）
大　10枚	20	5,933	118,660	88農業者・団体
中　20枚	20	12,240	244,800	
小　50枚	20	31,364	627,280	
合　計		49,537	990,740	
前年比			138.7%	

③　「決め手くん」ＬＩＮＥスタンプ販売（県受託事業・継続）

青森県産品の認知度向上を図るため、県産品ＰＲキャラクター「決め手くん」ＬＩＮＥスタンプの販売を県から受託し、売上高１千円となった。

Ⅳ　会員サービス

会員加入メリットの向上を目指し、会員サービスの充実を図った。

１　情報発信

協会及び連携機関の各種事業等に関する情報について、登録会員 194 事業者へ定期的にメール配信を行った。

感染症に伴う、国や県などが実施する支援策について随時情報提供して会員が事業継続できるよう支援した。

２　他団体との連携

（１）一般財団法人青森県薬剤師会食と水の検査センター

会員メリットの向上を図るため、同センターの協力により各種検査料金に協会会員価格を設定した。のべ 42 事業者が利用し支援の効果が図られた。

（２）北方商事株式会社

会員メリットの向上を図るため、同社の協力により損害保険に関する支援策を設定した。

Ⅴ　会議

１　総会

令和４年６月 23 日（木）

２　理事会

第１回　令和４年５月 24 日（火）
第２回　令和４年 11 月 15 日（火）
第３回　令和５年３月８日（水）

３　監査

第１回　令和４年５月 16 日（月）
第２回　令和４年 11 月２日（水）

４　青森県物産観光振興対策協議会総会

令和４年５月 26 日（木）（書面）

Ⅵ　関係機関との連携

No.	機関名	委嘱役名	就任者
1	青森県「攻めの農林水産業」推進本部	委　員	会　長
2	青森県観光戦略推進本部	構成員	〃
3	青森県農林水産物輸出促進協議会	監　事	〃
4	青森県物産株式会社	監査役	〃
5	株式会社あおもり北彩館	代表取締役	〃
6	公益社団法人青森県観光国際交流機構	理　事	〃
7	（青森県観光戦略推進本部） 国際戦略プロジェクト推進委員会	委　員	専務理事
8	青森県食品衛生監視指導計画に関する検討委員会	委　員	〃
9	青森県伝統工芸指定審査会	委　員	〃
10	株式会社あおもり北彩館	取締役	〃
11	（青森県「攻めの農林水産業」推進本部） 総合販売戦略推進委員会	オブザーバー	〃
12	青森県食育推進会議	協力団体	―
13	青森県 HACCP 推進連絡会議	構成員	―